平成 25 年２月 14 日

各　　位

会 社 名　株式会社小僧寿し
代表者名　代表取締役社長　　木村 育生
（ＪＡＳＤＡＱコード９９７３）
問合せ先　経営企画部長　　三浦 広義
（電話番号　03-6226-4400）

特別損失の計上及び平成24年度12月期業績予想と実績との差異の発生に関するお知らせ

この度当社において下記の通り特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成24年12月期（平成24年１月１日～平成24年12月31日）の業績予想について、平成24年7月27日付「業績予想の修正について」発表時の通期業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．特別損失の発生理由

連結では特別損失として「固定資産の減損に係る会計基準」に従い当社社内規定の判断基準に基づき不採算店舗の固定資産について減損損失39百万円、平成25年度に予定されている店舗閉鎖に係る引当金について20百万円等を、第３四半期連結会計期間までと併せて１億69百万円を計上いたします。

また個別でも上記の不採算店舗の減損損失21百万円、平成25年度予定の店舗閉鎖に伴う引当金20百万円等により、通期で１億31百万円を計上いたします。

２．平成24年12月期通期（連結・個別）業績予想と決算値の差異について

（１）平成24年12月期通期連結業績予想との差異（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益（円銭）
前回予想（A）	20,649	216	239	3	0.23
今回発表実績（B）	20,235	△644	△611	△878	△65.73
増減額（B-A）	△414	△860	△850	△881	△65.96
増減率	△2.0%	－	－	－	－
前期の実績（平成 23 年 12 月期）	20,447	△140	△91	△881	△70.07

（２）平成24年12月期通期個別業績予想との差異（平成24年１月１日～平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益（円銭）
前回予想（Ａ）	15,267	48	△134	△10.35
今回発表実績（Ｂ）	15,516	△651	△860	△64.45
増減額（Ｂ－Ａ）	249	△628	△851	△54.10
増減率	1.6％	－	－	－
前期の実績（平成23年12月期）	16,132	△133	△844	△65.21

３．差異の理由

ＴＶＣＭ、携帯電話やインターネット等の販促活動に注力したほか、新業態である立喰寿し「鉢巻太助　築地本店」および「小僧寿し」の新フォーマット店舗を出店し「鮨のいつき」業態を新ブランド「鉢巻太助」に転換を進める等売上拡大策を推し進めてまいりました。売上高につきましては、前回予想の206億49百万円から202億35百万円となりました。損益につきましては、低価格商品の投入および米価の高騰等による売上総利益率の低下と販売促進費の増加や12月に見込んでいたおせち販売数が当初見込みよりも下回ったこと等により、前回予想の営業利益２億16百万円に対し営業損失６億44百万円（前年同期は１億40百万円の営業損失）、経常損失２億39百万円に対し経常損失６億11百万円（前年同期は91百万円の経常損失）となりました。また、特別損失として減損損失等１億69百万円の発生により当期純利益３百万円の予想に対して当期純損失８億78百万円（前年同期は９億７百万円の当期純損失）となりました。

また、個別業績予想につきましても、連結業績予想の修正理由と同様の理由により差異が発生しております。

以　上